ONKYO

スピーカーシステム

D-309E

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

スピーカーシステムの表面塗装について

ピアノ塗装仕上げタイプのスピーカシステムは表面保護のため、ピアノクリーナーを塗布しております。
そのため、開封時、表面がくすんで見える場合があります。その際は湿った布などで一度全体をふき取り、その後乾いた布でおふき取りください。
ご注意：布は傷付き防止のため、柔らかいものをご使用ください。

安全上のご注意
安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた

間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。



誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。

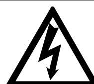


誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた

△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。


高温注意

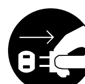

感電注意

⦸記号は「～してはいけない」という禁止の内容を表しています。


分解禁止


ぬれ手禁止

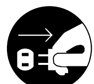
●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。


電源プラグをコンセントから抜く


必ずする

⚠ 警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐにアンプの電源プラグを抜く


電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機を落としてしまった
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアンプの電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

分解、改造しない


分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない


水場での使用禁止


水濡れ禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。

- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

使用上のご注意

■本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない


禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■長時間音がひずんだ状態で使わない


禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

■長期間大きな音で使用しない

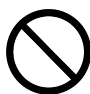

禁止

本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大音量で長期間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれる恐れがあります。

⚠ 注意

接続、設置に関するご注意

■不安定な場所や振動する場所には設置しない


禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
特に本機は背が高いため、市販の転倒防止チェーンをお使いいただくことをお勧めします。

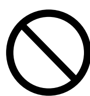
■配線コードに気をつける


注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

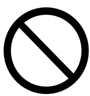
使用上のご注意

■音量に注意する


禁止

- 突然大きな音が出てスピーカーを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。
- 始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

■キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない


禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったりデータが消失することがあります。

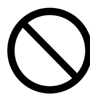
移動時のご注意

■移動時は接続コードをはずす


必ずする

コードが傷つき火災や感電の原因になります。

■本機の上にものを乗せたまま移動しない


禁止

本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。
グリルネットやスピーカーユニット部を持って移動させないでください。

■ 機器内部の点検について

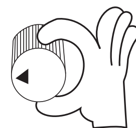
お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をお勧めします。本機の内部にほこりのたまったまま使用していると火災や故障の原因になることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

■ 本機のお手入れについて

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



主な特長

ウーファーユニット

■新開発N-OMFコーン、砲弾型イコライザー採用

「より硬く、軽く、固有音の少ない」点に着目し改良。不織布のコットンを3層重ね、アラミド繊維をハイブリッドした「N-OMF」振動板を採用。滑らかさやスピード感を引き出す砲弾型イコライザーを装備。

ツィーターユニット

■ピストンモーション領域20kHzを実現するリングツィーターを搭載

中央部が振動しないリング型振動板を採用。徹底した形状解析により、分割振動を大幅に低減し、ピストンモーション領域の拡大に成功しました。

その他

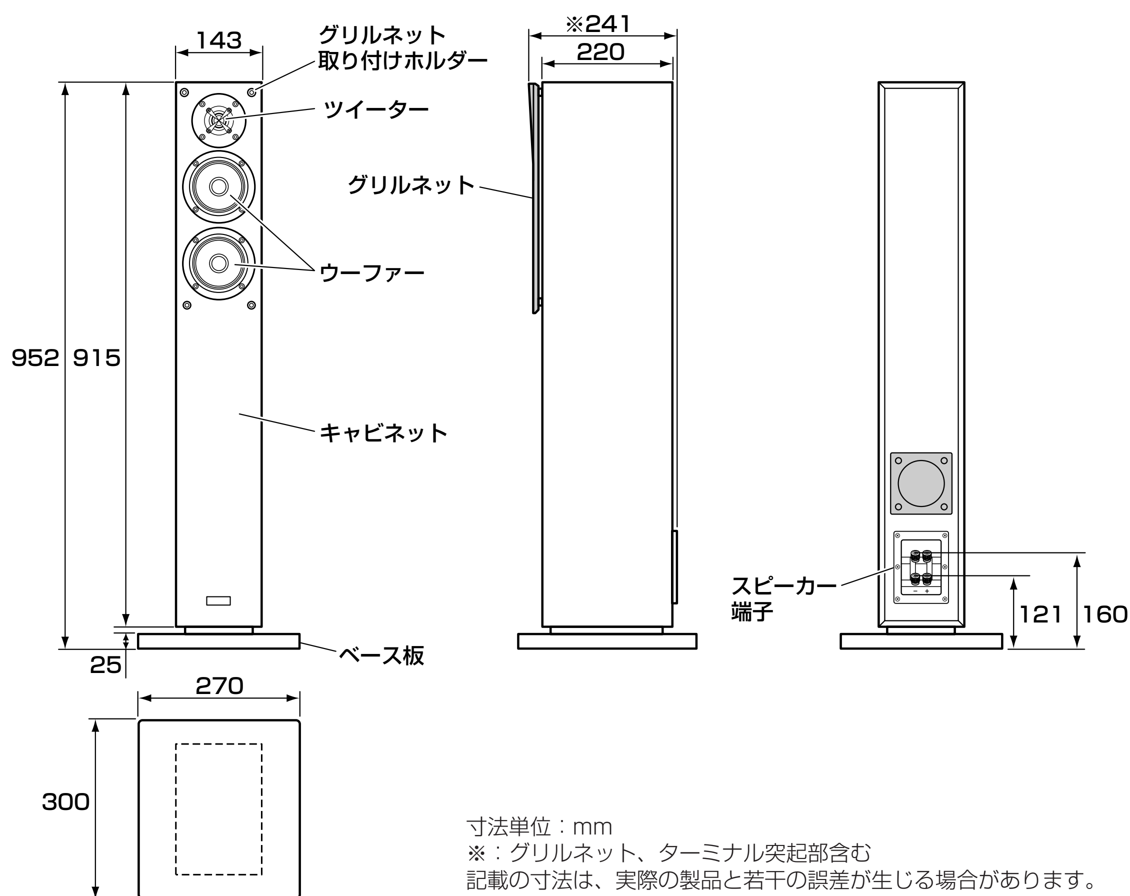
■リアルウッド突板仕上げ/ピアノ塗装仕上げキャビネットの2タイプを採用

■バナナプラグ対応金メッキ真鍮削り出しターミナル

■バイワイヤリング接続対応

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法や仕様は同じです。

各部の名前



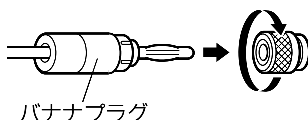
寸法単位：mm
※：グリルネット、ターミナル突起部含む
記載の寸法は、実際の製品と若干の誤差が生じる場合があります。

接続のしかた

- 本機とアンプを接続するときは、アンプのボリュームは出力最小にし、電源プラグを抜いた状態で行ってください。
- 本機の定格インピーダンスは6Ωです。接続するアンプは6Ωに対応したものをご使用ください。
- 右側に使用するスピーカーはアンプのスピーカー端子のR（右）に、左側に使用するスピーカーはアンプのスピーカー端子のL（左）に接続してください。
- プラス⊕とマイナス⊖を間違って接続すると、音が不自然になりますのでご注意ください。
- スピーカーコードのしん線はよくよじり、確実にスピーカー端子に接続してください。
- スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。

！ヒント

- 本機のスピーカー端子は市販のバナナプラグタイプのスピーカーコードを接続することができます。
- バナナプラグを使用する場合は、スピーカー端子のねじを締めてから、端子中央の穴にプラグを差し込んでください。

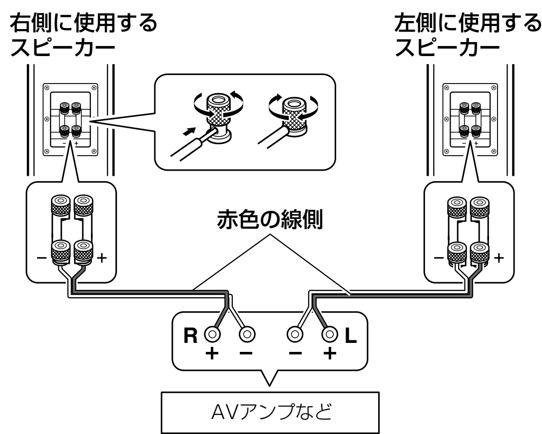


■一般的な接続方法

1. ショートバーを取り付けたままで、LOW-FREQUENCY（ロー フリーケンシー）側の端子をゆるめます。
2. スピーカーコードを端子の穴に差し込み、再び端子をしっかり締め付けてください。

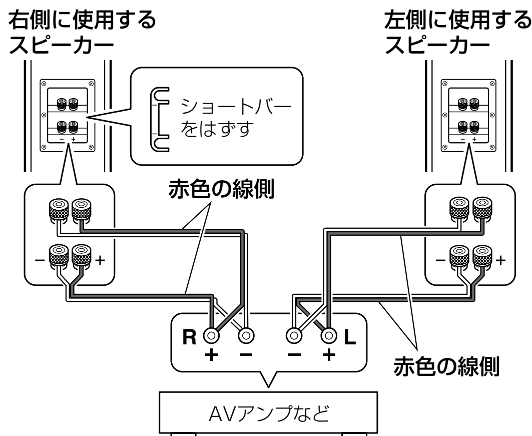
ご注意

HIGH-FREQUENCY（ハイ フリーケンシー）側ショートバーがゆるむことがありますので、しっかり締め付けてください。



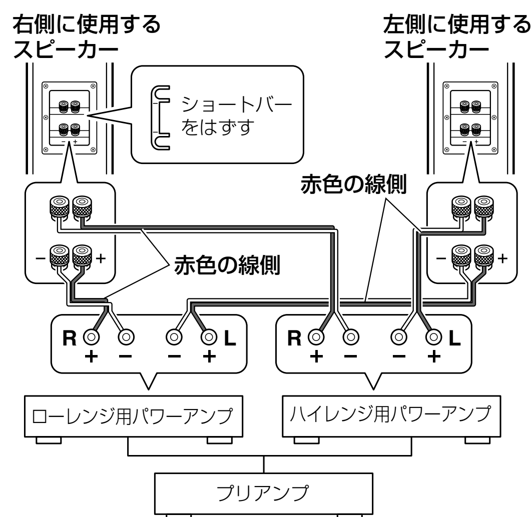
■バイワイヤリング接続方法（付属のショートバーは使用しません。）

1. HIGH-FREQUENCY（ハイ フリーケンシー）、LOW-FREQUENCY接続端子にそれぞれ別々のスピーカーコードを接続します。
2. アンプのスピーカー端子には、下図を参考にして極性を合わせてともに締め付けてください。



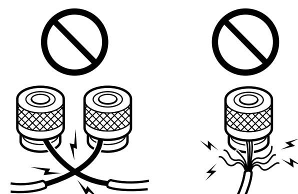
■バイアンプ接続方法（付属のショートバーは使用しません。）

HIGH-FREQUENCY接続端子にはHIGH-FREQUENCY用アンプを、LOW-FREQUENCY接続端子にはLOW-FREQUENCY用アンプを、それぞれ独立して接続する方法です。⊕⊖の極性に注意して接続してください。



危険

- 回路の故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線のプラス⊕とマイナス⊖あるいはLとRなどを絶対に接触させないでください。また、アンプのリアパネルにも触れないように、ご注意ください。
- スピーカーコードは、しっかりとよじってください。銅線がアンプのリアパネルに触れると、ショートする原因となります。

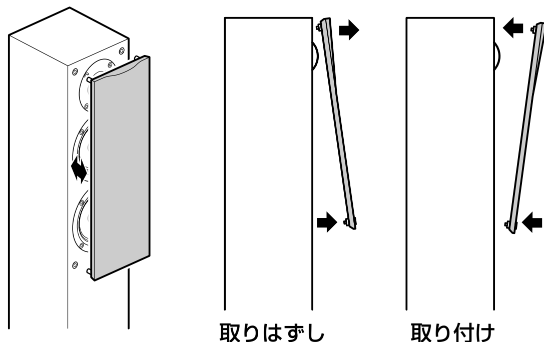


使いかた

■グリルネットの脱着

本機は前面のグリルネットを取りはずすことができます。グリルネットを取り付けたり、はずしたりするときは次のように行ってください。

1. グリルネットの下側を両手で持ち、手前に軽く引っ張り、グリルネットの下側をはずします。
2. 同じようにグリルネットの上側を手前に引っ張ると、グリルネットは本体からはずれます。
3. 取り付けるときは、グリルネットの四隅にある取り付けピンを本体のグリルネット取り付けホルダーに合わせて押し込みます。



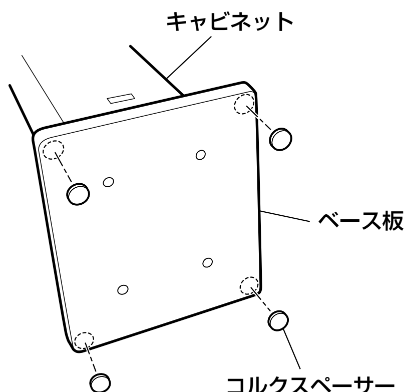
■付属のコルクスペーサーを取り付ける

安定した設置と、よりよい音でお楽しみいただくため、また可塑剤の移行*を防止するためにも、付属のコルクスペーサーを必ずお使いください。
コルクスペーサーは、図のように本機底面の四隅に貼り付けてください。

* 「可塑剤の移行」については8ページの「設置する際のご注意」をご覧ください。

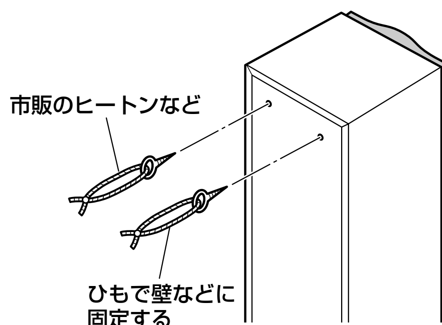
ご注意

本機は非常に重いので、貼り付け時は取り扱いに十分ご注意ください。



■固定のしかた

キャビネット背面上部に設けてある左右2ヵ所の穴に太さ4mm、長さ15mm程度のヒートンなどを使って丈夫なひもを取り付け、壁などに固定してください。



■スピーカーシステムの設置場所について

スピーカーシステムの音質は、それを設置する部屋の構造、広さ、家具の配置や大きさなどによって大きく変化します。より良い音で音楽を楽しんでいただくために、次のようなことにご注意ください。

- 本機はブロックなどで持ち上げたりせず、できるだけ振動しにくい丈夫な床面に設置してください。特に毛足の長い絨毯の上に直接設置するのは転倒の危険もあり、音質上も好ましくありませんのでおやめください。
- スピーカーと床との間にガタツキがありますと、質の良い低音が得られませんので、コインのような金属板を使ってガタツキが無くなるようにしてください。
- 一般に、部屋の中では家具や壁の影響で音質が変わります。できる限り左右の音響条件が揃うことが、ステレオ再生の場合、良い結果になります。極端に違うと、左右の音のバランスが崩れることがあります。
- お聞きになる位置（リスニングポジション）が左右のスピーカーシステムを底辺とした正三角形の頂点、または頂点より少しうしろになるように設置するのが理想的です。
- スピーカーシステムの正面にガラス戸や堅い壁があると、音が反射し、ある周波数だけ共振することがあります。このようなときは、厚手のカーテン等をかけて吸音処理をすることをおすすめします。

ご注意

- **ブラウン管テレビには対応していません。**
- 本スピーカーには磁石が使われています。ブラウン管テレビ、時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気の影響を受けるものを近くに置かないでください。

取り扱いについて

■キャビネットについて

リアルウッド突板仕上げキャビネット

突板仕上げの製品は、工業製品とは異なり一つとして同じ木目模様のものはありません。これは、原材料の木の年輪が表面にあらわれているためで、不規則な模様の変化や濃淡の変化といった個性を持っています。
オンキヨーの製品は、自然が与えてくれる要素をできる限り生かしたいと考えています。このような個性も音楽を再現する道具の一部として味わってください。

ピアノ塗装仕上げキャビネット

キャビネットには、幾度にもおよぶ塗装と磨き行程を経て完成する高光沢ピアノ仕上げを採用し、インテリア性を追求したこだわりの仕様となっています。このタイプのスピーカーシステムは、表面保護のためピアノクリーナーを塗布しています。開封時、表面がくすんで見える場合は、湿った布などで一度全体をふき取り、その後乾いた布でふき取ってください。布は傷付き防止のため、柔らかいものをご使用ください。

設置する際のご注意

本機を設置する場合には付属のコルクスペーサーを必ず使用し、塗装部分が、可塑剤*を含む製品に直接接触しないようにご注意ください。本機の表面を被っている塗装皮膜は、可塑剤を含む製品に長時間接触していると、色移りしたり色落ちすることがあります。
これを「可塑剤の移行」と言い、可塑剤を含む製品に長時間接触することで、その製品に含まれている可塑剤が本機の塗装膜を軟化させることによって生じる現象です。

滑り止めシートやソファーなどは、製品によって可塑剤が含まれている場合があります。本機に接触することで色が移ったり、本機の色が落ちたりするトラブルが起こった場合は保証の対象とはなりません。

* 可塑剤とは、ある材料に柔軟性を与えたり、加工しやすくするために添加する物質のことで、主に、塩化ビニール（塩ビ、PVC と言われることもあります。）を中心としたプラスチック製品に用いられます。可塑剤は次のような製品に使用されている場合があります。
• 合成皮革（ソファー、椅子、テーブルクロス、衣類など）
• 滑り止めシート
• 建材（壁紙、床材、天井材など）
• 電線被覆（家電製品のコード、ケーブル類）
• フィルム・シート（雑誌や書籍の表装、機器などに使用しているカバーなど）
• 塗料・接着剤・顔料（ダンボール箱や家具などの合板用）

■お手入れについて

製品の表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。
ピアノ塗装仕上げの場合は、市販されているピアノクリーナー（鏡面ツヤ出し用）をご使用ください。塗装面に付いた手アカや汚れをすっきり取り、美しい光沢に仕上げます。お手入れ後は、ホコリや手アカが付きにくくなり、付着しても乾拭きで楽に取ることができます。
スピーカーのグリルネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るか ブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

■テレビやパソコンとの近接使用について

一般にテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
本機は防磁設計ではありません。ブラウン管テレビを本機の近くでご使用になると、色むらやひずみが生じる場合があります。そのときは、本機をテレビから離してください。

■取り扱い上のご注意

本機は通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。
① FM チューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用 CD などの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ アンプが発振しているとき
⑦ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

主な仕様

形式	：2ウェイ バスレフ型
定格インピーダンス	：6Ω
最大入力	：100W
定格感度レベル	：87dB/W/m
定格周波数範囲	：65Hz～100kHz
クロスオーバー周波数	：2.5kHz
キャビネット内容積	：19.7リットル
外形寸法(幅×高さ×奥行)	：270×952×300mm （グリルネット、ターミナル突起部含む）
質量	：10.7kg
使用スピーカー	：ウーファー：10cm N-OMFコーン型×2 ツイーター：3cm　リング型
ターミナル	：バナナプラグ対応金メッキ真鍮 削り出しスピーカーターミナル、 バイワイヤリング対応
防磁設計	：無
付属品	：コルクスペーサー（4個） スピーカーコード3.0m（1本） 取扱説明書（本書)(1） 保証書（1） ユーザー登録カード（1）

※仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または11ページの「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名　D-309E
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■オンキヨー修理窓口について

詳細は11ページに記載の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはオンキヨー修理窓口へご相談ください。

オンキヨー ご相談窓口・修理窓口のご案内

※販売店の長期保証制度にご加入いただいた製品の保証期間内の修理は、お買い求めの販売店へご依頼いただくようお願いします。

■「送付」による修理をご希望の場合は

下記のオーディオリペアセンターへご送付ください。

〒682-0925 鳥取県倉吉市秋喜243番地
オンキヨー 鳥取オーディオリペアセンター 修理受付窓口宛 050-3161-9555
（詳しくは）http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm
（ONKYOホームページの「サポート」→「オーディオ製品のサポート」→「修理のお手続き」で閲覧可能）

■ お近くの修理拠点へ「持込み」をご希望の場合は

下記のURLにて全国の修理拠点のご案内がございます。お持込みの際には営業日を確認のうえでご訪問いただくようお願いします。

（詳しくは）http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm
（ONKYOホームページの「サポート」→「オーディオ製品のサポート」→「修理のお手続き」で閲覧可能）

■「出張修理」をご希望の場合、その他ご不明な点は

下記のオンキヨー オーディオコールセンターへご相談ください。

オーディオコールセンター 050-3161-9555（IP電話）
（受付時間：10:00～18:00 土・日・祝日及び弊社で定める休業日を除きます）

※出張修理の際は、修理費用以外に出張費用が別途かかります。また、地域によっては、出張修理のできないエリアがございます。あらかじめご了承ください。

2012年1月現在 住所、電話番号、受付時間などは変更になることがございます。

ONKYO

オンキヨーサウンド&ビジョン株式会社
〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2-1

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：
オンキヨーオーディオコールセンター
☎ 050-3161-9555（受付時間　10：00〜18：00）
（土･日･祝日･弊社の定める休業日を除きます）
サービスとサポートのご案内：http://www.jp.onkyo.com/support/

G1201-1

SN 29401119

